

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	2 - 1
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第1節 市民が参加する福祉のまちづくり	所管部署名	こども福祉部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	伴 茂樹
	施策小項目	1 地域福祉活動の支援	施策小項目	
	施策小項目	2 福祉意識の醸成	施策小項目	
	施策小項目	3 支援体制の構築	施策小項目	
本	施策小項目		関連部署名(1)	こども福祉部地域福祉課
	施策小項目		関連部署名(2)	
	施策小項目		関連部署名(3)	
	施策小項目		関連部署名(4)	
事	施策の目的	だれもが住み慣れた地域で安心した生活を送れることをめざす。		市民の役割
	施策に関する個別計画	第3次吉川市地域福祉計画（平茂29年度～令和3年度）		
項	施策の目的			役割分担
	施策に関する個別計画			
			行政の役割	地域福祉の担い手としての市民の参画を基本とし、地域の実情やニーズを把握し、地域連帯意識の高揚などの環境づくりを支援する。

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指	要援護者見守りネットワークの協定事業所数 増加することが良いとされる指標	事業所	57	91	100	C	120
			H27	R1	R1		R3
標							

評価軸	評価方法	評価点
評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	3点
施策に関する現状と課題		総合評価
指標の見守りネットワークの協定事業所数については、目標設定時より着実に増加しているが、各年度の目標値までは到達していない。今後、事業の周知と新規事業所との協定締結を進めていく。協定事業所、関係機関との座談会や会報誌により、見守りネットワーク事業の理解を深め、意識を低下させないよう努める。 第3次吉川市地域福祉計画（H29年度～R3年度）に沿って、課題に対応する事業の推進を図っていく。		
施策評価 レーダーチャート		
		3点 評価軸①～④の評価点の平均点

	貢献順位	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値	
構 成 す る 事 務 事 業	1	301101	民生委員・児童委員活動推進事業	1 委員が行う要支援者の相談・支援件数	件	1,100	952	現状のまま継続
	2	301102	社会福祉協議会支援事業	1 社協が実施した事業数	数	65	68	現状のまま継続
	3	301103	ボランティアセンター支援事業	1 ボランティアセンター相談数	件	1,000	853	現状のまま継続
	4	301105	更生保護活動支援事業	1 「社会を明るくする運動」の啓発活動参加者数	人	45	21	現状のまま継続
	5	301107	福祉有償運送推進事業	1 会員登録者数	人	10	55	現状のまま継続
	6	301109	地域福祉計画推進事業	1 基本計画事業実施数	事業	125	125	現状のまま継続
	7	301110	一人暮らし高齢者等見守り事業	1 安心リユク・あんしん救急キット配付率（高齢者）	%	80.00	71.92	現状のまま継続
	8	301112	自殺対策事業	1 ゲートキーパー養成研修受講者数	人	60	28	現状のまま継続
	9	301113	要援護者見守りネットワーク事業	1 協定事業所数	事業所	93	91	現状のまま継続
	10	302210	障がい者（児）日常生活用具給付事業	1 給付件数	件	1,200	1,182	現状のまま継続
	11	302221	成年後見人制度利用助成事業	1 実績件数	件	2	2	現状のまま継続
	12	302222	介護給付審査事業	1 二次審査において区分変更になった件数	件	5	0	現状のまま継続

特記事項

- ・民生委員・児童委員活動推進事業は、民生委員・児童委員の一齐改選を行った。
- ・更生保護活動支援事業は、社会を明るくする運動吉川市推進委員会を組織し、犯罪防止及び青少年の非行防止と明るい吉川市をつくるために、「社会を明るくする運動大会」等を実施した。
- ・自殺対策事業は、ゲートキーパー養成研修を平成24年度から毎年実施し、累計370人が受講した。（令和元年度：28人）
- ・要援護者見守りネットワーク事業は、地域住民と接する機会が多い事業者と連携した地域の見守り活動で、令和元年度末現在91事業所と協定を締結した。また、見守り声かけ実践講座や、年1回の連絡会を座談会として実施した。

今後の展開

- ・民生委員・児童委員は、多くの地区で後継者不足の問題を抱えており、自治会推薦のほか新たな方法を検討し定員充足を図る。
- ・第3次吉川市地域福祉計画が令和3年度で計画期間の満了を迎えることから、令和2年度から2か年かけ、社会福祉法の改正、計画の進捗状況、近年の地域生活課題等を踏まえ、第4次吉川市地域福祉計画を策定する。
- ・社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画は、第4次吉川市地域福祉計画の策定と連携しながら共同策定を目指していく。また、社会福祉協議会の新たな事務所の設置及び、自立した職員体制の構築が求められており、そのための必要な支援を行う。
- ・自殺対策計画の進捗状況を把握し、推進を図る。
- ・社会福祉法の改正により包括的な支援体制の整備が位置付けられ、より一層の支援体制の充実が求められていることから、複雑化・複合化した問題等における当市の支援体制の現状分析、市民ニーズの見直し、地域資源の状況等を踏まえながら、当市の最も適した支援スタイルの方向性を検討する。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 2 - 2	
基 本 事 項	施策名	第2節 未来を育む児童福祉の推進	所管部署名	こども福祉部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	伴 茂樹
	施策小項目	1 地域における子育ての支援	施策小項目	
		2 子どもの健やかな成長の支援	施策小項目	
		3 子育て環境の整備	施策小項目	
			関連部署名(1)	こども福祉部子育て支援課
			関連部署名(2)	こども福祉部保育幼稚園課
			関連部署名(3)	
			関連部署名(4)	
	施策の目的	子どもたちが健やかに自分らしく成長できる地域社会を築く	役 割 分 担	市民 の 役 割 行政 の 役 割
	施策に関する個別計画	吉川市子ども・子育て支援事業計画(平成27年度～令和元年度)		
				地域の子どもや子育て家庭への見守りや支援に努める。 ・全ての子育て世帯に配慮した制度や施設の整備充実を図る。 ・制度等の周知広報に努め、保護者の理解を深める。

区分	指 標 名 (上 段)		単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)							
指 標	①	児童館の利用人数	人	30,149	38,780	31,183	A	31,700
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
指 標	②	子育て支援センターの利用人数	人	26,696	25,183	27,499	D	28,301
		増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3
指 標	③	保育所の待機児童数	人	30	3	0	B	0
		減少することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 8点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸②	評 価 の 理 由 ・ 説 明	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	3点
	評価軸③		<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	3点
	評価軸④		<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	3点
施策に関する現状と課題			※構成する事務事業については裏面を参照	
第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、最大の課題である待機児童の解消のため、施設整備を促進していくことはもとより、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化で、保護者が孤立感や負担感を感じることがないよう、総合的な子育て支援体制の充実を図ってきたところである。 待機児童数は、これまで保育施設の新設など保育提供量の確保に努めた結果、待機児童数の減少につながっている。		4 成果指標達成度 3 2 1 0 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度		総合評価
		3点		評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	303204	子ども医療費支給事業	2	子ども医療費の助成額	千円	290,641	281,315	現状のまま継続
	2	303205	ひとり親家庭等医療費支給事業	2	ひとり親家庭等医療費の助成額	千円	14,060	13,193	現状のまま継続
	3	303102	児童虐待防止対策事業	1	要保護児童対策地域協議会での管理ケース数	件	27	29	現状のまま継続
	4	303202	子どもの貧困対策推進事業	1	就職決定者数	人	3	2	現状のまま継続
	5	304101	民間保育所保育委託事業	1	入所待ち児童数	人	0	3	現状のまま継続
	6	304103	利用者支援事業	1	保育施設の入所待機となった児童数	人	0	3	現状のまま継続
	7	304105	民間保育施設整備支援事業	1	待機児童数(国基準)	人	0	3	現状のまま継続
	8	304204	学童保育事業	1	学童保育室入室待機児童数	人	0	0	現状のまま継続
	9	304109	地域型保育給付事業	1	地域型保育給付費	千円	314,301	278,179	現状のまま継続
	10	304201	市立保育所管理運営事業	1	市立保育所入所率	%	110.00	93.41	現状のまま継続
	11	304107	施設型給付事業	1	施設型給付費	千円	120,279	95,492	現状のまま継続
	す る	12	303206	ひとり親家庭等自立支援事業	1	相談受付件数	人	150	148
13		303402	ファミリーサポートセンター運営事業	1	協力会員・両方会員合計人数	人	260	268	現状のまま継続
14		303207	児童扶養手当支給事業	1	一部支給停止事由該当者数(減額適用)	人	0	2	現状のまま継続
15		303208	児童手当支給事業	1	制度利用率	%	92.0	92.0	現状のまま継続
16		303107	家庭児童相談事業	1	相談受付件数	人	510	730	現状のまま継続
17		303401	子育て支援センター運営事業	1	子育て支援センター(おあしず)利用者	人	8,850	9,474	現状のまま継続
18		304102	保育充実事業	1	病児・病後児保育利用者数	人	400	169	現状のまま継続
19		304104	民間保育所特別保育支援事業	1	低年齢児保育実施保育所数	所	12	12	現状のまま継続
20		304110	地域型保育補助事業	1	延長保育実施保育所数	所	7	7	現状のまま継続
21		303201	児童健全育成事業	1	助産施設実施割合	%	100	66.66	現状のまま継続
22		303302	児童館運営事業	1	事業参加者数	人	15,500	14,623	現状のまま継続
事 務		23	303301	児童館施設管理事業	1	児童館利用者数	人	42,000	38,780
	24	303103	子ども・子育て支援事業計画推進事業	1	計画の進捗率(待機児童数)	人	0	8	現状のまま継続
	25	303104	ホームスタート事業	1	ホームスタート訪問件数	件	26	40	現状のまま継続
	26	303105	産前・産後ヘルプサービス事業	1	産前・産後ヘルプサービス利用回数	回	140	78	現状のまま継続
	27	304202	一時保育運営事業	1	一時保育利用件数	人	2,400	946	現状のまま継続
	28	304203	障がい児保育事業	1	障がい児入所児童数	人	204	163	現状のまま継続
	29	303203	青少年相談員活動推進事業	1	事業参加者の青少年相談員に対する満足度	%	100	100	現状のまま継続
	30	303106	緊急サポート事業	1	利用件数	件	32	40	現状のまま継続
	31	303101	児童ショートステイ事業	1	ショートステイ利用日数	日	5	0	現状のまま継続
	32	303303	天文科学運営事業	1	プラネタリウム観覧者数	人	4,500	4,948	現状のまま継続
	33	303304	母親クラブ支援事業	1	母親クラブ合同事業参加率	%	80.00	68.35	現状のまま継続
	業	34	302204	発達障がい児(者)支援事業	1	巡回支援実施者	人	100	113
35		302301	こども発達センター運営事業	1	障がい児通所支援事業給付費	円	19,608	14,151	拡大
36		304106	家庭保育室運営支援事業	1	家庭保育室利用者数	人	100	73	他の事業に統合
37		304108	施設型給付補助事業	1	延長保育実施保育所数	所	1	1	現状のまま継続
38		304111	一時預かり事業(幼稚園型)	1	一時預かり事業補助金交付額	千円	598	656	他の事業に統合
39		304114	施設等利用給付金給付事業	1	施設等利用給付額	千円	193,044	189,334	現状のまま継続
40		304205	第二保育所再整備事業	1	建設事業全体の進捗率	%	100	75.00	現状のまま継続
41		802108	災害共済給付事業	1	災害共済給付制度加入率	%	100	99.96	現状のまま継続
42		303209	未婚児童扶養手当受給者臨時特別給付金事業	1	支給対象者率	%	9	7.20	終了・完了

特記事項
児童館と子育て支援センターについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日から6月14日まで利用停止としていた。6月15日以降は、一部利用制限を設けつつ、感染症拡大防止を図りながら開館している。

今後の展開
児童館と子育て支援センターの運営に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、今後も市民のニーズを的確に捉え、地域における子育ての支援、子どもの健やかな成長の支援、子育て環境の整備を積極的に展開していく。
待機児童の解消に向けては、引き続き、保育提供体制を維持するとともに、保育幼稚園課に1名配置する保育コンシェルジェの相談支援などにより、保護者ニーズと空きのある保育施設を可能な限り結び付け最適な利用調整を行う。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 2 - 3			
基 本 事 項	施策名	第3節 いきいき暮らせる高齢者福祉の推進	所管部署名	健康長寿部		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	鈴木 昇		
	施策小項目	1 高齢者の社会参加の促進	施策小項目			
		2 高齢者の日常生活の支援	施策小項目			
		3 介護予防の充実	施策小項目			
	4 介護保険事業の充実	施策小項目		関連部署名(4)		
	施策の目的	高齢者が安心して住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができることをめざす。		役 割 分 担	市民 の 役 割	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、心身の健康管理に努める。
	施策に関する個別計画	よしかわ地域包括ケア計画（第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画、平成30年度～令和2年度）				
				行政 の 役 割		高齢者の生きがいづくりと健康づくりのために、心身の健康の維持増進のための事業を推進する。

区 分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指 標	①	65歳以上人口に対する要介護等認定者の割合	%	12.20	12.63	13.90	15.10
		目標値を下回ることが良いとされる指標		H27	R1	R1	R3
				-			

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	4点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
	施策に関する現状と課題			※構成する事務事業については裏面を参照
備 考	高齢者がいつまでも健康で住み慣れた地域で暮らすため、地域でのつながりや支え合いづくり、また、高齢者自身の健康づくりのための施策として妥当と考えている。いきいき運動教室や地域型介護予防教室などの運動教室は、運動の習慣化を目的としており、高齢者の健康づくりに一役を担っている。 また、地域の支え合いづくりとして各地域において核となる人材の発掘や育成を行うことで地域での課題解決に向けた取り組みを進めている。 引き続き、高齢者の健康づくりへの機会提供を進めるとともに、生きがいや人とのつながりづくりを進める必要がある。			4点
				4点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構	1	401121	いきいき運動教室等介護予防事業	1 介護予防教室参加者率	%	98.00	95.76	現状のまま継続
	2	401123	地域型介護予防事業	1 地域型介護予防事業実施自治会数	団体	40	43	手段を改善
	3	401126	地域包括支援センター事業	1 地域包括支援センター相談件数	件	2,200	2,101	現状のまま継続
	4	401128	生活支援体制整備事業	1 担い手養成講座の参加者数	人	50	0	現状のまま継続
	5	401125	ふれあいデイサービス事業	1 サービス延べ利用回数	日	3,680	2,080	現状のまま継続
成	6	401122	アクティブシニア社会参加支援事業	1 シニア元気塾参加者数	人	400	211	現状のまま継続
	7	401120	介護予防・日常生活支援総合事業	1 新しい総合事業検討会議の開催回数	回	6	0	現状のまま継続
	8	401119	老人福祉センター管理運営業務	1 老人福祉センター利用者数	人	40,000	32,544	現状のまま継続
	9	401124	介護ボランティア活動支援事業	1 介護支援ボランティア手帳交付数	人	70	75	拡大
	10	401117	シルバー人材センター支援事業	1 シルバー人材センター補助額	円	11,339,000	11,339,000	現状のまま継続
す	11	401116	高齢者生きがいづくり活動事業	1 スポーツ大会開延べ参加者数	人	900	634	他の事業に統合
	12	401129	認知症総合支援事業	1 認知症サポーター人数	人	400	364	現状のまま継続
	13	401111	外出支援サービス事業	1 サービス延べ利用回数	回	270	290	現状のまま継続
	14	401112	無料入浴券支給事業	1 無料入浴券利用枚数	枚	15,500	14,869	現状のまま継続
	15	401114	在宅高齢者介護支援手当支給事業	1 手当支給総額	円	594,000	409,500	現状のまま継続
事	16	401115	高齢者世帯賃貸住宅家賃助成事業	1 家賃助成金支給総額	円	9,074,000	8,056,600	現状のまま継続
	17	401118	高齢者配食サービス事業	1 配食サービス延べ実数	食	20,500	24,102	現状のまま継続
	18	401131	成年後見人利用支援事業	1 審判請求を行った件数	件	3	1	現状のまま継続
	19	401130	介護相談員活動事業	1 介護相談員訪問率	%	100.00	85.70	現状のまま継続
	20	401133	介護支援用品支給事業	1 給付総額	円	1,089,000	919,426	現状のまま継続
務	21	401132	位置情報提供サービス利用支援事業	1 位置情報提供システム利用件数	件	900	989	現状のまま継続
	22	401107	買い物支援利用助成事業	1 サービス延べ利用回数	回	104	52	現状のまま継続
	23	401106	生活安心ヘルプサービス事業	1 サービス延べ利用時間数	時間	90	0	現状のまま継続
	24	401105	寝具洗濯乾燥サービス事業	1 サービス利用回数	回	4	2	現状のまま継続
	25	401104	日常生活用具給付事業	1 サービス利用者数	人	20	14	現状のまま継続
事	26	401103	日常生活サポートサービス事業	1 サービス延べ利用時間数	時間	1,000	350	現状のまま継続
	27	401109	くらしアップデイサービス事業	1 サービス延べ利用日数	日	48	0	現状のまま継続
	28	401110	緊急時通報システム貸与事業	1 緊急時通報システムの稼働件数	件	450	432	現状のまま継続
	29	401108	生活支援ショートステイサービス事業	1 サービス延べ利用日数	日	5	0	現状のまま継続
	30	401101	老人福祉施設措置事業	1 老人福祉施設入所措置者数	人	1	0	現状のまま継続
業	31	401102	介護福祉推進協議会運営事業	1 協議会出席率	%	100	76.92	現状のまま継続
	32	401301	介護認定審査事業	1 延期通知の割合	%	6.50	3.00	現状のまま継続
	33	401201	介護保険給付事業	1 介護保険給付費	千円	3,113,459	3,179,468	現状のまま継続

特記事項

- ・介護予防運動教室として、いきいき運動教室は市内5会場で全18コース（1コース15回）実施した。（参加者：令和元年度=881名、平成30年度=896名）。はつらつ運動教室は市内2会場で全8コース（1コース15回）実施した（参加者：令和元年度=135名、平成30年度=136名）。
- ・高齢者が自立し安心して暮らせるよう地域包括支援センターによる相談業務等を実施した。独居高齢者世帯及び高齢者のみ世帯の心身の状況の把握並びに生活実態の把握、実態把握に基づいて、高齢者の心身の状態に応じたサービス、機関、制度につながるよう相談・支援等を行う。また、自治会単位で、実情や課題の把握を行う地域ケア会議を開催した。
- ・認知症の人やその家族に早期に関わることで早期診断・対応に向けた支援体制を構築するため、平成29年度に認知症初期集中支援事業を業務委託した。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携を図るため、平成30年度に在宅医療サポートセンターを医師会に委託し設置した。

今後の展開

高齢者自身の健康づくりにつなげるため、健康寿命の延伸、介護を必要としない（必要とする時期を遅らせる）健康な身体づくりを推進するための手法として、フレイル予防を実施する。

また、地域の支え合いづくりの一環として、住民主体で生活支援や外出支援などに取り組む自治会等の支援を行っていく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	2 - 4
------------	-----------	------------	-------

基	施策名	第4節 みんなが支えあう障がい者（児）福祉の推進		所管部署名	こども福祉部	
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）		評価責任者	伴 茂樹	
	施策小項目	1 障がい者の地域生活の支援	施策小項目	関連部署名(1)	こども福祉部障がい福祉課	
	施策小項目	2 保健・医療との連携	施策小項目	関連部署名(2)	健康長寿部健康増進課	
	施策小項目	3 障がい者の社会参加の促進	施策小項目	関連部署名(3)		
本	施策小項目			関連部署名(4)		
	事	施策の目的	障がい者が地域の中で地域の人々と安心して暮らせる社会をめざす。			役割分担
		項	施策に関する個別計画	第4次吉川市障がい者計画（平成30年度～令和5年度）		
			第5期吉川市障がい福祉計画（平成30年度～令和5年度）			
					市民の役割 障がいがある者もない者も互いに尊重し、共生する社会の実現に努める。	
					行政の役割 福祉サービスの提供などによって地域生活を支援するとともに理解促進や就労支援などによって社会参加を進める。	

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）							
①	一般企業等に就職を希望し、実際に就労できた人数の割合		%	56.3	76.7	63.2	A	70.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
②	地域移行支援、地域定着支援を受けた人数の合計		人	9	12	15	C	20
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
③								
④								

施策の評価	評価方法		評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 6点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価理由・説明 施策の進捗状況はおおむね順調に推移しているが、地域移行支援は、対象者数が少なく元年度は、0件であった。これは、事業の進捗に直接的に連動しないことが要因である。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	評価理由・説明 第4次吉川市障がい者計画策定時において、アンケート調査や団体ヒアリングを行い、この計画に反映させた。また、令和2年3月に障がい者に対し、アンケート調査を実施し、その結果をもとに就労とグループホームの有り方等について検討会議において議論している。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	評価理由・説明 障がい者の就労を支援するために、訓練等の給付や就労部会での検討や市役所での就労体験の実施など様々な角度から事業を行っている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
施策に関する現状と課題			総合評価
みんなが支え合う障がい者（児）福祉の増進を目指し、障害者総合支援法に基づく各種サービスの給付や独自支援策などの充実に努めてきた。特に障がい児に対する療育訓練の充実や手話言語条例の制定、あいサポート事業などに取り組んできた。他方、一般就労を望んでいる障がい者の方々の声や、住み慣れた地域で生活を送りたいという要望、グループホームの設置を求める声があり、今後どのように支援できるのかを総合的に検討する必要がある。			3点
			評価軸①～④の 評価点の 平均点

施策評価レーダーチャート

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構	1	302211	障がい者計画推進事業	1 第4次吉川市障がい者計画実施率	%	70.00	70.00	現状のまま継続
	2	302201	障がい者相談支援事業	1 相談件数、(H30から訪問件数)	件	130.00	138.00	手段を改善
	3	302202	障がい者就労支援事業	1 一般事業所等へ就職した障がい者の人数	人	20.00	23.00	拡大
成	4	302212	障がい者交流促進事業	1 ふれあいスポーツ大会参加者数	人	400.00	400.00	現状のまま継続
	5	302223	介護・訓練等給付事業	1 居宅サービス等利用時間数	時間	6,200.00	5,305.00	現状のまま継続
	6	302206	補装具費支給事業	1 補装具給付総額	千円	12,000.00	15,100.00	現状のまま継続
す	7	302209	入浴サービス事業	1 利用回数	回	800.00	847.00	現状のまま継続
	8	302217	障がい児(者)一時介護支援事業	1 一時介護等利用料助成事業利用者数	人	20.00	24.00	手段を改善
	9	302216	移動支援事業	1 のぞみ号利用件数	件	150.00	173.00	現状のまま継続
る	10	302205	自立支援医療支給事業	1 更生医療給付総額	円	62,000,000.00	66,052,866.00	現状のまま継続
	11	302215	生活訓練事業	1 生活訓練等事業の参加者数	人	180.00	142.00	現状のまま継続
	12	302207	地域活動支援センター事業	1 センターの利用人数	人	1,300.00	1,626.00	現状のまま継続
事	13	302104	福祉タクシー・自動車燃料助成事業	1 利用件数	件	22,300.00	21,474.00	現状のまま継続
	14	302208	緊急時通報体制整備事業	1 新規利用者数	人	2.00	0	現状のまま継続
	15	302214	意思疎通支援事業	1 登録手話通訳者数	人	1.00	0	現状のまま継続
務	16	302101	重度心身障害者医療費給付事業	1 支給金額	千円	135,000.00	140,446.00	現状のまま継続
	17	302102	在宅重度心身障害者手当支給事業	1 手当支給額	千円	36,000.00	35,085.00	現状のまま継続
	18	302103	特別障害者手当等支給事業	1 特別障害者手当等支給額	千円	29,000.00	28,426.00	現状のまま継続
業	19	302218	吉川フレンドパーク支援事業	1 利用者数(生活介護事業)	人	35.00	32.00	現状のまま継続
	20	302219	ひだまり支援事業	1 利用者数(就労継続支援B型事業)	人	40.00	29.00	現状のまま継続
	21	302220	中川の郷支援事業	1 新規入所人数	人	1.00	0	拡大
	22	302203	障害者手帳交付支援事業	1 障がい者増加人数	人	50.00	93.00	現状のまま継続
	23	302213	寝具乾燥サービス事業	1 延べ利用回数	回	1.00	0	現状のまま継続

特記事項 福祉タクシー事業については、タクシーの初乗り運賃が消費増税に伴う料金改定により10円値上げとなり、タクシー券の助成額についても値上げに対応した助成を行った。
社会福祉法人東埼玉が運営する中川の郷療育センターは、令和2年度の運用開始に向け、令和元年度在宅支援棟を新たに増築し、ショートステイ事業や児童発達支援、生活介護事業の充実を図った。

今後の展開 平成30年3月に策定した第4次吉川市障がい者計画に基づき、引き続き各種の施策を実施していく。手話言語条例の制定(令和2年4月1日施行)により、手話の普及啓発に努めるとともに、令和2年度から新たに「あいサポート運動」を積極的に展開し、理解促進を図っていく。また、就労支援とグループホームについては、重要課題であることから、今後のニーズを十分に把握するとともに、有り方を含め継続的に検討していく。また、障がい者の生活支援として、相談支援体制や在宅サービスの充実を努める。
障がい者の社会参加の促進については、東京2020パラリンピックを契機として、他部門との連携により、障がい者スポーツの普及促進に努めるとともに、屋内スポーツ大会の充実を図ることにより障がい者の社会参加と交流促進を図っていく。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 2 - 5	
基 本 事 項	施策名	第5節 生涯を通じた健康づくりの推進	所管部署名	健康長寿部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	鈴木 昇
	施策小項目	1 食育の推進	施策小項目	5 歯科口腔保健の推進
			関連部署名(1)	健康長寿部健康増進課
			関連部署名(2)	
		関連部署名(3)		
		関連部署名(4)		
	施策の目的	市民が生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと生活することをめざす。		役 割 分 担 市民の役割 行政の役割
	施策に関する個別計画	第2次吉川市健康増進計画（平成25年度～令和4年度）		
		第2次吉川市食育推進計画（平成29年度～令和4年度）		
		心身ともに健康に生活できるよう、自らの健康管理に努める		
		生活習慣病やがんにならないように健康診査やがん検査の受診を啓発し、早期発見と保健指導による健康維持を支援する。 妊婦健診や乳幼児健診などにより母子の健康と子どもの健やかな成長を支援する。		

区分	指標名（上段）	単位	設定時の値	実績値（年度）	目標値（目標年度）	達成状況	最終目標値（目標年度）
	指標の性質（下段）						
指 標	① 特定保健指導実施率	%	47.5	66.0	53.8	A	60.0
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	保健指導の対象者に様々な手法で働きかけることで高い保健指導実施率を達成することができた。	4点
	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		誰もが願う健康な日常を実現するための手段として健康診査と保健指導は市民ニーズを反映している。	4点
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		健康な日常生活の営みを実現するために資するための多角的な事業構成となっている。	4点
	施策に関する現状と課題		※構成する事務事業については裏面を参照	
	特定保健指導は、生活習慣病のリスクが高い方を対象としているため、引き続き対象者への指導を受ける意識を持っていただくよう働きかけを行うとともに、リスクが低い方の日常的な健康づくりへの取組みも始めていく必要がある。			総合評価 4点
			施策評価 レーダーチャート	評価軸①～④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	403201	健康増進事業	1 大腸がん検診受診率	%	12.00	9.90	現状のまま継続
	2	403301	母子保健事業	2 乳幼児相談利用人数	人	800	598	現状のまま継続
	3	403302	予防接種事業	1 乳幼児、児童、生徒等の予防接種率	%	95.00	92.72	現状のまま継続
	4	403303	乳児家庭全戸訪問事業	1 乳児家庭訪問率	%	95.00	95.80	現状のまま継続
	5	403304	子育て世代包括支援センター運営事業	1 専門非常勤職員従事期間	月	12	12	現状のまま継続
	6	403202	8020推進事業	1 歯周疾患検診利用率(稼働率)	%	70.00	64.22	現状のまま継続
	7	403104	健康・体づくりポイント制度事業	1 事業参加率	%	0.83	0.88	現状のまま継続
	8	403105	ウォーキング推進事業	1 コバトン健康マイレージ事業参加者数	人	200	196	現状のまま継続
す る 事 務 事 業								

特記事項
 新型コロナウイルス感染症対策として集団健診の実施において1回当たりの受診人数の抑制や会場内の感染症対策などを行った。

今後の展開
 引き続き保健指導実施率の向上を図るとともに、保健指導の効果測定にも取り組む。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日		令和2年9月30日		No. 2 - 6	
基	施策名	第6節 スポーツによる健康・体力づくり		所管部署名	健康長寿部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）		評価責任者	鈴木 昇
	施策小項目	1 健康・体力づくりの推進	施策小項目	関連部署名(1)	健康長寿部スポーツ推進課
	施策小項目	2 スポーツ、レクリエーション活動の支援	施策小項目	関連部署名(2)	健康長寿部健康増進課
	施策小項目	3 スポーツ環境の整備	施策小項目	関連部署名(3)	
本	施策小項目			関連部署名(4)	
	施策の目的	市民が、心身の健全な発達と健康保持ができるよう、だれもがいつでもどこでもスポーツに親しむことができる環境づくりをめざします。			市民の役割 行政の役割
	施策に関する個別計画				
事	市民の健康の保持増進を図るため、スポーツに対する関心及び理解を深め、スポーツ活動への参加に努める。				
項	スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの参加及び支援を促進するよう努めるとともに、スポーツ施設の安全の確保、利便性の向上を図るよう努める。				

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	20歳以上で、週1回以上運動やスポーツを行っている割合		%	49.3	46.4	54.9	D	58.7
	増加することが良いとされる指標			H28	R1	R1		R3
②	総合体育館（会議室、トレーニング室を除く）の稼働率		%	58.3	61.1	61.4	B	62.9
	増加することが良いとされる指標			H27	R1	R1		R3
③								
④								

施策の評価	評価軸	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点
の	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評価の理由・説明 ・「スポーツ実施率」については、スポーツをする機会を提供する様々な事業を行ったが、目標値の達成に至っていない。 ・「総合体育館の稼働率」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため新たな予約受付を中止した期間や自主的に大会を中止した団体もあったことから減少したが、目標値を概ね達成した。 ・気軽にできるウォーキングをはじめ、スポーツ団体の支援など様々な事業展開により、市民ニーズは概ね反映できたものと捉えている。 ・気軽にできる運動への参加機会提供から各種スポーツ団体の支援まで、幅広い事業で構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		3点
	施策に関する現状と課題	・新型コロナウイルス感染症拡大防止を適切に講じながら、引き続きスポーツ実施機会の提供をしていく必要がある。 ・スポーツ施設の経年劣化に伴い、計画的な修繕などの適切な維持管理が求められている。		
総合評価				3点
評価軸①~④の平均点				3点

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	2 - 7
------------	-----------	------------	-------

基 本 事 項	施策名	第7節 地域医療体制の充実	所管部署名	健康長寿部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	鈴木 昇
	施策小項目	1 医療情報の発信	施策小項目	
	施策小項目	2 救急医療体制の充実	施策小項目	
	施策小項目	3 在宅医療の推進	施策小項目	
	施策小項目		関連部署名(1)	健康長寿部健康増進課
			関連部署名(2)	
			関連部署名(3)	
			関連部署名(4)	
	施策の目的	だれもが適切な医療を受けられる環境の整備をめざす。	役割分担	市民の役割
	施策に関する個別計画			行政の役割
				行政が発信する地域医療体制に係る情報を主体的に取り入れることに努める。
				関係機関と連携を図り、地域医療体制を整備し、適正な保健・医療サービスを提供する。

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
指 標	①	かかりつけ医を持っている市民の割合	%	56.5	62.0	58.6	A	60.0
		増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3

施策の 評価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 4点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
	評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 (最終年度には100%以上の達成度の見込み) <input type="checkbox"/> おおむね順調 (最終年度には80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (最終年度には50~80%程度達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (最終年度には50%未満の達成度)	評価の理由・説明 日常的に「かかりつけ医」を持つことの重要性について理解が進み、目標値を超える値になったものと考えられる。 健康について広く相談できる「かかりつけ医」は、市民の健康管理に重要であるが、一方で症状に応じて医療機関を選択する市民も多い。 医療機関が診療時間外の医療の提供や救急医療体制の整備は、地域医療体制の充実に資する。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		3点
	施策に関する現状と課題			
	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において救急医療体制の整備を図っているが、今後、小児救急医療を担う医療機関の不足が懸念される。			総合評価 4点
			施策評価 レーダーチャート	評価軸①~④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	403103	救急医療体制整備事業	2	小児時間外(初期救急)受診者数(吉川市民)	人	470	332	現状のまま継続
	2	401127	在宅医療と介護連携推進事業	1	吉川松伏多職種連携の会	回	6	6	現状のまま継続
	3	403101	献血推進事業	1	達成率	%	100.00	110.03	現状のまま継続
	4	403102	骨髄移植ドナー支援事業	1	骨髄提供者数	人	2	0	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

特記事項
新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、様々な症状に対してかかりつけ医への相談を案内する機会が増加した。

今後の展開
引き続き「かかりつけ医」の重要性について周知を図るとともに、近隣市町や医療機関等を連携し、救急医療体制の整備に取り組む。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日		No. 2 - 8	
基 本 事 項	施策名	第8節 健康保険・年金による社会保障	所管部署名	健康長寿部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	鈴木 昇
	施策小項目	1 国民健康保険給付の適正化	施策小項目	
		2 国民健康保険財政の健全運営	施策小項目	
		3 国民年金の制度周知	施策小項目	
			関連部署名(1)	健康長寿部国保年金課
			関連部署名(2)	健康長寿部健康増進課
			関連部署名(3)	
			関連部署名(4)	
	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・病気、怪我等への保険給付を適切に行うことにより、生活の安定と福祉の向上をめざす。 ・老後の生活を支える年金制度が安定的に維持されることをめざす。 	役割 分担	市民の役割 ・特定健診を受診するなど健康への関心を高め、自身の健康を維持増進することに努める。 ・国民健康保険や年金制度に対する理解に努める。 行政の役割 ・特定健診をはじめとする保健事業を実施し、疾病予防に努める。 ・国民健康保険や年金制度を周知し、適正な資格管理や賦課徴収を行う。
	施策に関する個別計画	第3期吉川市国民健康保険特定健康診査等実施計画（平成30年度～令和5年度）		

区分	指 標 名 (上 段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指 標 の 性 質 (下 段)						
指 標	① 被保険者1人当たりの医療費	円	327,505	365,816	397,880	A	433,068以下
	目標値を下回ることが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

評価軸	評価方法	評価点
	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。
評価軸② 施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
・被保険者の高齢化や医療技術の高度化等の影響により、医療費は今後も増加することが見込まれることから、被保険者の健康の保持・増進につながる取り組みをさらに充実させ、医療費の伸びを抑制していく必要がある。 ・将来にわたり安定的な運営が可能となるよう、医療費適正化対策等の一層の取組強化を図る必要がある。		
施策評価 レーダーチャート		4点
		成果指標達成度 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度
		評価軸①～④の評価点の平均点

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
				成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値		
構 成	1	402114	特定健康診査等事業	2	特定健康診査受診率	%	48.00	45.76	手段を改善
	2	403203	特定保健指導事業	1	初回特定保健指導実施率	%	68.00	65.20	現状のまま継続
	3	402302	国民健康保険資格管理事業	2	1人当たり点検効果額	円	1,220	1,763	現状のまま継続
	4	402301	賦課徴収事業	2	現年度国民健康保険税収納率	%	94.50	94.69	手段を改善
	5	402404	国民年金啓発事業	1	市広報紙への掲載率	%	100	100	現状のまま継続
す る 事 務 事 業									

特記事項
・健康増進課の事務事業である、特定保健指導事業を構成する事務事業に加えた。

今後の展開
・被保険者の健康の保持・増進を図り、医療費の適正化を図るためには、特定健診の受診率を向上させることが重要である。特定健診受診の意義について、さらなる周知を図るとともに、より効果的な受診勧奨を実施し、勧奨に対する効果検証を実施することにより、次年度以降にさらに効果的な受診勧奨に繋げていく。また、受診率向上に向け、引き続き健康・体力づくりポイント制度と連携し、機会を捉え、事業の周知を図っていく。
・国民健康保険財政を安定的に運営していくため、「吉川市国民健康保険財政健全化計画」に基づき、医療費・保険給付の適正化の推進や国民健康保険税の適正な賦課等の取組の強化を図っていく。
・国民健康保険制度や国民年金制度は複雑であり、制度改正も頻繁に行われることから、制度が正しく理解されるよう、広報やホームページの活用その他、個々の問合せや相談に対し、引き続き丁寧に対応していく。
・今後については、国保の保険者として被保険者を対象としての施策だけでなく、全市民を対象にして、健康づくりや他の施策とあわせて実施したほうが効果的である。

令和2年度 施策評価シート 《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	2 - 9
------------	-----------	------------	-------

基 本 事 項	施策名	第9節 自立支援と生活保障	所管部署名	こども福祉部
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり（健康福祉部門）	評価責任者	伴 茂樹
	施策小項目	1 生活保護制度の適正な運用	関連部署名(1)	こども福祉部地域福祉課
	施策小項目	2 生活困窮者自立支援事業の充実	関連部署名(2)	
	施策小項目		関連部署名(3)	
	施策小項目		関連部署名(4)	
	施策の目的	生活を保障するとともに、経済的自立や日常生活の自立、社会生活の自立を助長する。	市民の役割 役割分担	・疾病の治療、回復及び健康保持に努める。 ・生活の自立に向けた求職活動等に努める。
	施策に関する個別計画			生活保護費を支給する。 就労支援等、自立に向けた支援を行う。

区分	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
指 標	生活保護受給者および生活困窮者のうち就労を契機に生活の自立を達成した人の割合	%	13.00	15.13	16.30	C	18.00
	増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

施 策 の 評 価	評価軸①	評価方法		評価点
		指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	
	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50~80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	評 価 の 理 由 ・ 説 明	就労支援対象者の希望や状態等に応じた寄り添い型支援を行い、就労に結び付けることが出来た。	3点
	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		就労支援対象者の自己有用感や自尊感情を損なわないよう寄り添った質の高い就労支援が求められており、希望や状態等に応じた寄り添い型支援を行うことにより、就労に結び付けることが出来た。	4点
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容であり、引き続き事業を継続する。	4点
	施策に関する現状と課題		※構成する事務事業については裏面を参照	
	生活保護に係る相談件数は延べ398件、うち申請件数は95件（うち受給開始88世帯）となる。被保護世帯数は前年度比4.8%の伸びを示し、年度末で523世帯・697人であった。 生活保護受給者の援助方針を定め、家庭訪問や関係機関との連携、他法制度の活用により、経済的自立、日常生活の自立、社会生活の自立を目指した支援を行った。 指標「生活自立率」は、就労支援対象者130人のうち16人（12.31%）が就労により自立し保護廃止となった。また、生活困窮者自立支援制度の自立相談事業では、22人のうち7人（31.82%）が就労により自立を遂げた。全体として152人のうち23人（15.13%）が自立を達成した。		4 成果指標達成度 3 2 1 0 事務事業構成 施策評価レーダーチャート 施策進捗度 市民ニーズ反映度	3点
				評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R1目標値	R1実績値			
構 成	1	301203	生活保護受給者等就労支援事業	1	生活自立者数	人	30	23	現状のまま継続
	2	301202	生活保護支給事業	1	生活保護自立世帯数	世帯	50	44	現状のまま継続
	3	301204	住居確保給付金給付事業	1	給付金受給者のうち就職によって支給の中止・満了となった人数の割合	%	75.00	100	手段を改善
	4	301205	生活困窮者自立相談支援事業	1	支援最終者数	人	50	72	現状のまま継続
	5	301201	生活保護運営事業	1	新規申請のうち法定期限内（30日以内）処理件数の割合	%	100	100	現状のまま継続
	6	301206	生活困窮者子どもの学習支援事業	1	参加者（3年生対象）の高等学校等進学率（中学生）	%	100	95.00	現状のまま継続
す									
る									
事									
務									
事									
業									

特記事項

- 生活保護及び困窮者自立支援事業は、相談支援員3名と就労支援員1名の配置により、相談者の生活状況を的確に把握し、生活保護や困窮者自立支援、就労支援に繋ぐことができた。就労支援においては、ハローワークと連携して個々に応じたきめ細かい支援を行うとともに、就労開始後には就労状況や就労の不安などに対するフォローを行った。
- 生活保護申請に当たっては、法定期限内（30日）の処理が100%を達成した。
- 生活困窮者子どもの学習支援事業は、就職希望者を除く進学希望者全員が進学を果たした。

今後の展開

生活保護運営事業においては、申請件数が増加する中、近年では法定期限内（30日）の処理100%を達成した。引き続き、法定期限内処理に努める。

生活保護支給事業及び生活保護受給者等就労支援事業においては、受給者の自立助長となる一人ひとりに合わせた支援を実施し、1人でも多く生活の自立につなげるよう丁寧な支援に努める。

生活困窮者自立相談支援事業においては、引き続き制度周知を図るとともに、潜在している生活困窮者がスムーズに相談につながるよう各関係機関との連携を強化し、着実な事業の実施に努める。

子どもの学習支援事業においては、1人でも多くの子ども達に学習支援・家庭支援等を実施し、子どもたちが自ら困難を解決する力を身に付け、将来に向けて希望や志を持てるよう支援する。